



新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO., LTD.

世界中のガス事故をなくし、世界中の人を笑顔にする



通

信

vol.5

第63期 (2021.4.1-2022.3.31)

無線通信機能搭載で施工性アップ

より多くの厨房をガス事故から守るため
「設置しやすさ」を追究しました



ガス警報器



ガス警報器・マイコンメータ遮断用
無線装置セット XLR-610



マイコンメータ遮断用無線装置

トップメッセージ

今年度からスタートした中期経営計画を着実に推進してまいります

代表取締役社長

高橋良典

Yoshinori Takahashi

新型コロナウイルス感染症拡大やウクライナ情勢など、世界的に不透明な状況が続いています。これらの影響による部品不足、ひいては価格高騰が事業活動だけでなく日々の生活へも影響をもたらしています。当社も昨年11月より家庭用ガス警報器、住宅用火災警報器の一部製品について部品不足により減産をしております。また、産業用のガス検知器、ガス警報器に関しても先行きが不透明な状況にあります。お客様をはじめ関係する皆様にご迷惑をお掛けしていることをお詫び申し上げます。

私たちの目指す姿

新コスモス電機グループは、「センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」を使命に

掲げ、ガスセンサの研究開発をコアとし、それらを搭載したガス警報器・ガス検知器を世界中にお届けしています。

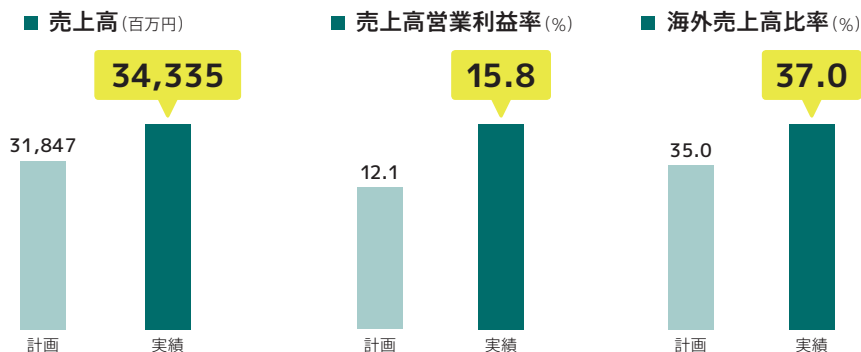
2021年度末で「中期経営計画2019-2021」が完了し、2022年5月には新たな3か年計画となる「中期経営計画2022-2024」を発表いたしました(詳細はP.5-6)。今回よりサステナビリティ戦略についても明確にグループとしての目標を打ち出し、カーボンニュートラルへの対応やSDGsへの取り組みなどを通して、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。そして、当社グループも持続的に発展できるよう企業価値向上に努め、設立当初からの大きな目標である「世界中のガス事故をなくす」に向けて邁進してまいります。

「中期経営計画2019-2021」最終年度の結果

定量目標とした

売上高、売上高営業利益率、
海外売上高比率の目標を

すべて達成



2021年度の成果

「中期経営計画2019-2021」の最終年度となった2021年度は、新型コロナウイルス感染症による三度目の緊急事態宣言で始まり、引き続き多くの活動制限がありました。そのような中でも、当社グループは増収・増益で2021年度を終えることができ、さらには中期経営計画の定量目標もすべて達成することができました。これもひとえにお客様、取引先企業様、株主様、協力会社様、そしてグループの全従業員のおかげです。心より感謝申し上げます。

2021年度の内容としましては、家庭用分野では海外市場でのガスセンサおよび電池式メタン警報器、国内市場でのLPガス用システム型警報器の販売が前年度に引き続き順調でした。産業用分野では、国内外のエレクトロニクス業界向けおよび国内の電力、石油、化学業界向けのガス検知警報器や鉄鋼向けの携帯用ガス検知器が好調に推移し、売上高は343億3千5百万円と前期比16.1%の増収となりました。利益につきましては、コロナ禍における営業活動の制限や、先行きの不透明さに備えた経費削減の取り組み、営業利益は54億3千2百万円と前期比57.7%増、さらには為替の影響もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は37億7千5百万円と前期比53.5%増となりました。

2022年度の見通し

国内の新型コロナウイルス感染拡大は収まりつつあるものの、国際情勢の不安定化、部品不足や価格高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。このような中、2022年度の計画は、売上高362億7千8百万円、経常利益44億9千9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は24億5千8百万円といたしました。グループ一丸となり、この計画達成に取り組んでまいります。

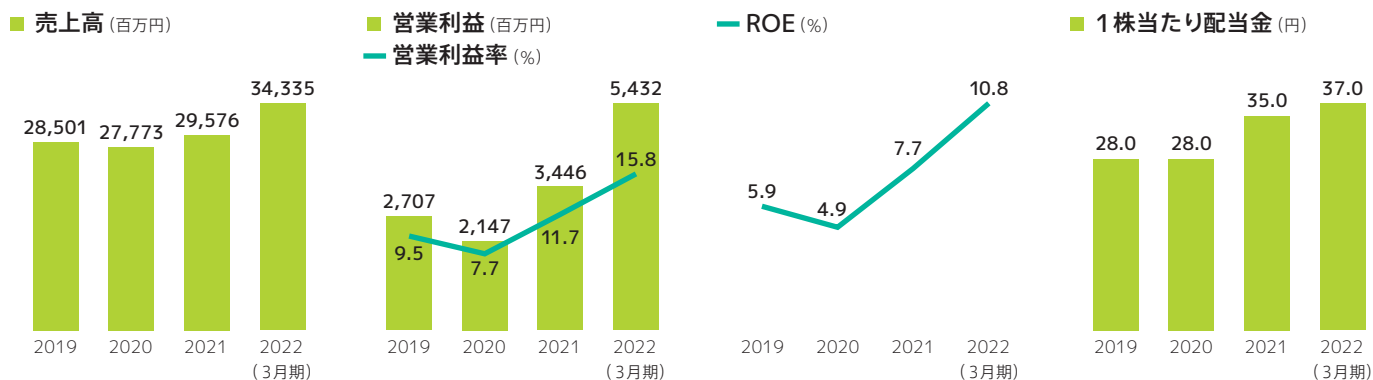
株主の皆様へ

当社は今年4月の東京証券取引所市場再編において、スタンダード市場に移行いたしました。株主の皆様の期待に応えるべく、引き続き企業価値向上に努めてまいります。また、株主の皆様への還元の基本方針は、「業績ならびに今後の事業展開等を総合的に勘案して安定的かつ継続的な配当を行うこと」としております。2021年度につきましては30円の配当予想としておりましたが、業績が予想を上回ったことから7円増配し37円の配当を行いました。2022年度についても37円の配当を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後も当社グループへの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

業績ハイライト



セグメント別の成果

家庭用ガス警報器関連

ご家庭の台所で万が一のガス漏れや不完全燃焼によるCOの発生を見張る家庭用ガス警報器や、リビングや寝室などで火災による煙やCOを感知してお知らせする住宅用火災警報器を展開。熱中症や空気の乾燥をお知らせする機能を搭載した商品やインターネットとつないでご家族の見守りを可能にした商品などラインナップを充実させています。

海外における警報器ならびにガスセンサの需要が好調に推移し、売上高は16,532百万円(前期比19.3%増)となりました。



【電池式 都市ガス用】
住宅用火災・ガス・CO警報器



【快適環境おしらせ】
【LPガス用】ガス・CO警報器



【快適環境おしらせ】
住宅用火災・CO警報器



売上高

その他
7.3%

業務用携帯型
ガス検知器関連
16.9%

工業用定置式
ガス検知警報器関連
27.6%

工業用定置式ガス検知警報器関連

LNG・LPG基地、石油化学プラント、半導体製造工場、水素ステーションなどガスを扱う現場では、安全管理が不可欠です。お客様のニーズにお応えするため、ガス検知器と警報器が一体型になったコンパクトなものから数千点のガス検知部を監視する大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案しています。

国内の電力、石油、化学ならびに国内外のエレクトロニクス業界向けのガス検知警報器の販売が好調に推移し、売上高は9,489百万円(前期比19.7%増)となりました。



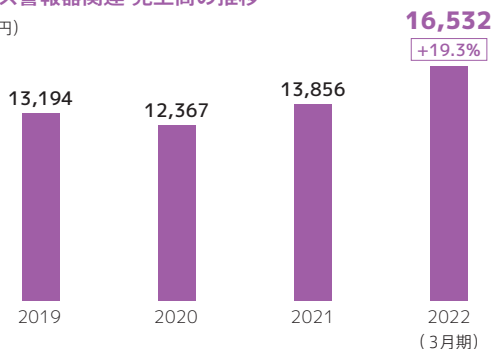
無線ガス検知部



一点式ガス検知警報器

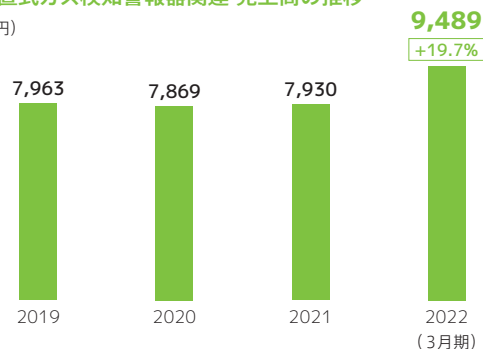
家庭用ガス警報器関連 売上高の推移

(単位: 百万円)



工業用定置式ガス検知警報器関連 売上高の推移

(単位: 百万円)





業務用携帯型ガス検知器関連

携帯用ガス検知器は、爆発事故防止や酸欠・中毒事故防止のためガスを扱うあらゆる現場で使用されています。小型・軽量化や通信機能を搭載したものなど作業者の皆様の使いやすさを考慮して開発しています。



マルチ型ガス検知器



酸素・一酸化炭素計



携帯用ガス検知器

国内の鉄鋼業界の販売が好調に推移し、売上高は5,797百万円(前期比6.4%増)となりました。

その他

ニオイの強弱を数値化する「ニオイセンサ」、コロナ禍の三密対策に役立つ「三密おしらせシステム 換気予報」、換気扇の運転をコントロールして冷暖房の省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どれもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。



ニオイセンサ



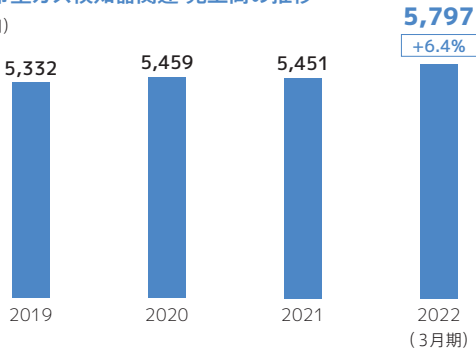
三密おしらせシステム
換気予報



換気扇コントローラ

業務用携帯型ガス検知器関連 売上高の推移

(単位：百万円)



構成比

家庭用
ガス警報器関連
48.2%

特集：中期経営計画 2022-2024

当社グループは、2022年5月に新しい中期経営計画を策定しました。グループの使命である「センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」のもと、「イノベーションによる安全・安心・快適な環境創り」「世界市場におけるプレゼンスの向上」「社会貢献」を中長期的なテーマとして事業に取り組んでまいります。



定性目標

「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、「お客様に選ばれ社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指す



定量目標

売上高
2024年度
450 億円以上

海外売上高比率
2024年度
40 %以上

営業利益率
12 %以上を目指す

2022年度(初年度)と2024年度(最終年度)のセグメント別連結売上計画

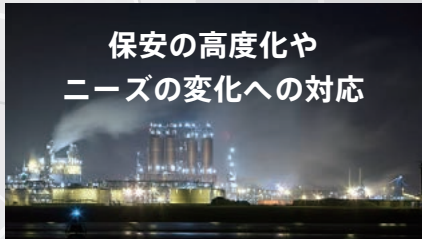
(単位：百万円)

	2022年度(初年度)	2024年度(最終年度)
家庭用ガス警報器関連	19,523	21,800
工業用定置式ガス検知警報器関連	8,849	10,200
業務用携帯型ガス検知器関連	6,941	10,000
その他	966	3,000
合計	36,278	45,000
営業利益(営業利益率)	4,303(11.9%)	5,400(12.0%)
ROE	6.5%	7.4%



成長戦略

コア・コンピタンスであるガスセンシング技術を活用し、MEMSセンサをはじめとする世界で競争力のある製品を展開し、新コスモス電機グループのプレゼンス向上を目指します。





基盤戦略

持続可能な成長軌道を歩むための第一歩として、技術開発・生産・人材育成に積極的に取り組み、これまで以上にグローバルな展開を行います。

生産体制とサプライチェーンの見直し

技術開発力の強化

人材育成



生産性の向上

ガバナンス経営の推進

グループ経営の強化



サステナビリティ戦略

当社グループは、ガスセンサ・ガスセンシング技術を通じて、これまで当社グループの使命として掲げる「安全・安心・快適な環境作り」に貢献してきました。今後はさらにカーボンニュートラルへの対応やSDGsへの取り組みなどを推進し、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続可能な企業価値の向上を目指します。

安全・安心で、持続可能な
社会づくりに貢献します

調達から廃棄までを考慮し、
持続可能な循環型の生産を目指します

多様な働き方を推進し、
働きがいの向上に取り組めます



CO₂排出削減に取り組むとともに、
社会のカーボン量削減に貢献します

クリーンエネルギーの
安全な利用に貢献します



投資戦略

当中期経営計画期間においては、「生産増への対応」「成長戦略を支える新製品の開発」「海外拠点の整備」などを中心に、3年間で100億円の投資を計画しています。



株主還元

株主還元につきましては、安定して継続した配当を実現することで、株主の皆様への利益還元につとめてまいります。配当性向は業績や投資計画とあわせて総合的に勘案していきます。

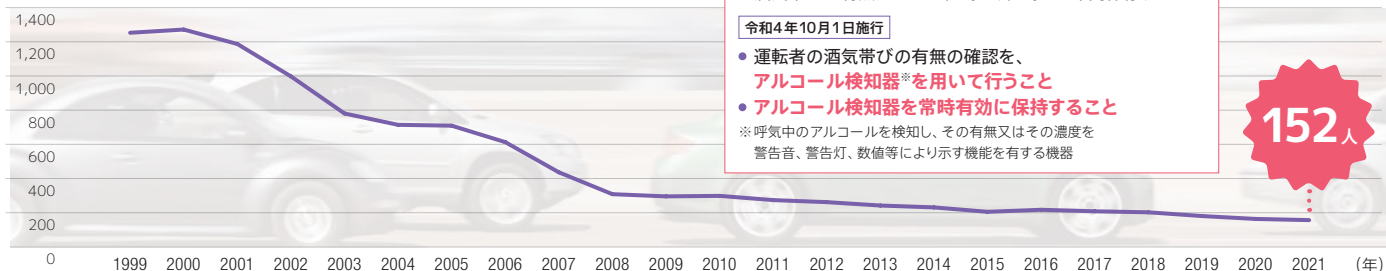
1998年から2008年の10年間で飲酒運転の厳罰化が進み、死亡事故は約1/4にまで減少しました。それでも未だ年間約150名の方が飲酒運転による事故で亡くなられています。

そのような中、2021年に白ナンバーのトラックが飲酒運転により児童5人を死傷させる事故が発生。これを受け、2022年4月から道路交通法施行規則が改正され、緑ナンバー（旅客／貨物事業者）のみではなく、**白ナンバー車を一定台数以上※使用する事業者におけるアルコールチェックが義務化**されました。対象の事業者は4月から「運転者の状態を目視等で確認すること」とされていますが、10月からは緑ナンバー車同様に「アルコール検知器を用いて行うこと」に変更されます。

※5台以上もしくは定員11人以上の車を1台以上

飲酒運転（原付以上運転者）による死亡事故件数の推移

（単位：人）



* 出典：警察庁WEBサイト『みんなで守る「飲酒運転を絶対にしない、させない」』

飲酒運転による痛ましい事故を無くすため、新コスモス電機グループのフィガロ技研(株)では、2010年から「**アルコールチェッカー フーゴシリーズ**」を提供。ガスセンサ技術を最大限に活かした優れた検知性能はもちろんのこと、測る・見るのみの単機能タイプからPCで測定結果を管理できる高機能タイプまで、用途に応じた幅広いラインナップを揃えています。フーゴシリーズは累計5万台以上を販売し、運送業界や航空業界などで役立てられてきました。今後は、**新たにアルコール検知が必要となった各種事業者に向けてアルコールチェッカーを拡販し、飲酒運転による事故撲滅に貢献してまいります。**

道路交通法施行規則

令和4年4月1日施行

- 運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること
- 酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存すること

令和4年10月1日施行

- 運転者の酒気帯びの有無の確認を、**アルコール検知器※を用いて行うこと**
- **アルコール検知器を常時有効に保持すること**

※呼気中のアルコールを検知し、その有無又はその濃度を警告音、警告灯、数値等により示す機能を有する機器

152人



FuGo Pro
フーゴプロ



FUGOsmart
フーゴスマート



FUGOsmart Bt
フーゴスマート Bt

高性能電気化学式ガスセンサ搭載「アルコールチェッカー フーゴシリーズ」



新商品紹介・トピックス

地域清掃活動を実施

環境保全活動および地域社会への貢献活動の一環として、5月21日に本社近隣の淀川河川敷にてゴミ拾いイベントを開催しました。淀川河川敷は、地域住民の方がジョギングや散歩を楽しまれる憩いの場所であり、会社設立以来長きにわたりお世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちを込めて参加を希望した社員とその家族が清掃活動を実施しました。この活動によりSDGsの「目標11：住み続けられるまちづくり」につながればと考えています。また当社社員に対する環境保全への意識づくりの一助となればと考えており、今後も継続して実施する予定です。



識別機能付ガス検知器「XP-304IIIai」を発売

都市ガス等の地中埋設管の漏えい調査のために使用される識別機能付ガス検知器は、漏えいガスと自然発生メタンを識別し無駄な掘削作業を防止する製品で、約40年にわたり全国のガス事業者様に役立てられています。この度約20年ぶりにリニューアルをした「XP-304IIIai」は、従来のガス濃度と識別結果を同時表示する機能に加え、カラーLCD搭載で識別結果をガス種ごとに色分け表示し、視認性がアップしました。モニター表示とグラフ表示の2種類の表示切替や、本体で400件のロギングデータを表示できるなど、お客様の要望に応え、より使いやすく高機能に進化しました。



「XP-304IIIai」

開発種話 vol.5 「ガス警報器・マイコンメータ遮断用無線装置セット XLR-610」 ～現場の声とニーズにすばやく対応しました～

XLR-610は、2020年に発生した福島県の飲食店爆発事故を受け、施工性を向上させたマイコンメータ連動型のガス警報器が求められ、開発がスタートしました。従来品は屋外のマイコンメータと屋内のガス警報器をつなぐ配線工事が必要で、設置が大がかりとなるのが普及の妨げとなっていました。そこで、無線通信機能を警報器に内蔵し、マイコンメータとの連動を無線化することが今回の開発の大きなテーマでした。すばやく市場に投入できるよう既存の業務用ガス警報器の筐体を使用したため、厨房用として必要な防水性能を担保しながら、通信に支障が出ないように配慮して無線通信用の部品を組み込む点に苦労しました。また、警報器交換時の縁組作業の手間を削減するためスイッチ一つで設定ができるようにするなど、現場の声にも応えました。

今後も、現場の声を大切にしながらニーズにすばやく対応し、世の中の安全・安心に役立つ製品の開発を進めてまいります。



技術開発本部 商品開発第一部
細野 祥平

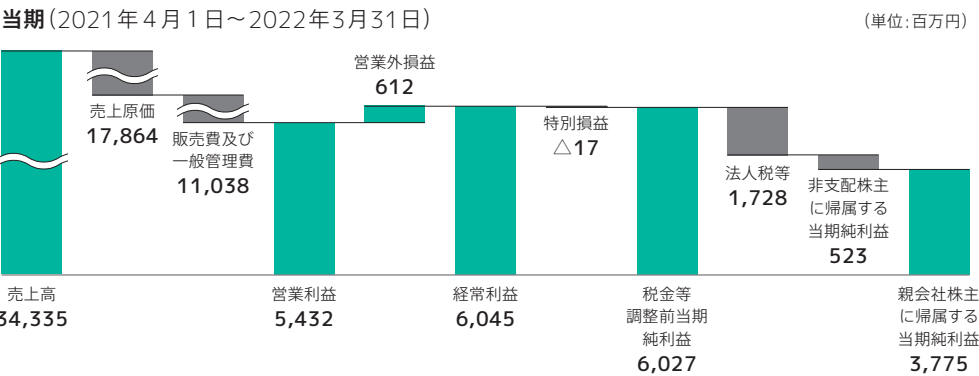
 表紙で紹介しているのが、「XLR-610」です

決算のポイント

連結貸借対照表の概要



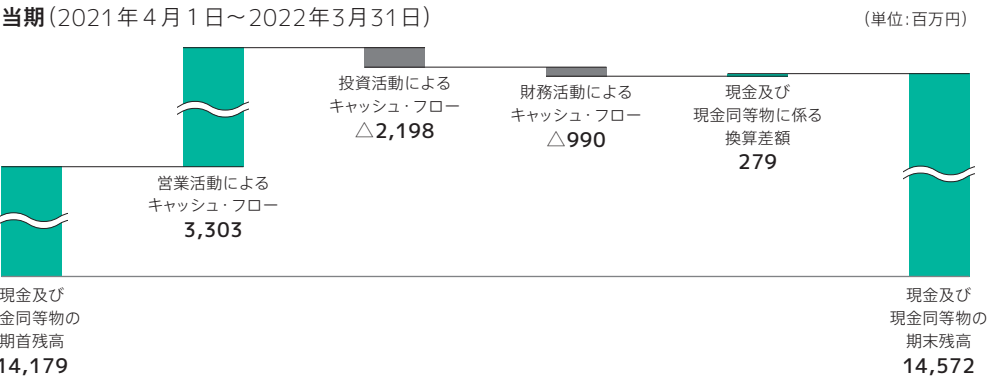
連結損益計算書の概要



前期との比較

売上高は、前期比16.1%の増収となりました。経常利益は前期比62.8%増、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比53.5%増の37億7千5百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



前期との比較

当連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動及び財務活動において減少したものの、営業活動において増加し、前連結会計年度末に比べ3億9千2百万円増加して145億7千2百万円(前期末比2.8%増)となりました。

会社概要・株式の状況

会社概要

(2022年3月31日現在)

社名	新コスモス電機株式会社
本社	〒532-0036 大阪府大阪市淀川区三津屋中2-5-4
設立	1960年6月15日
資本金	1,460百万円
従業員数	連結：855名、単体：436名
主要商品	家庭用ガス警報器 都市ガス警報器／LPガス警報器／CO警報器／ 住宅用火災警報器／無線連動システム 等 工業用定置式ガス検知警報器 一点式・多点式ガス警報器／無線ガス検知部／ 濃度表示機能付きガス検知部／一体型ガス検知警報器 等 業務用携帯型ガス検知器 可燃性ガス検知器／酸素濃度計／毒性ガス検知器／ 複合型ガス検知器 等 その他 ニオイセンサ／換気扇コントローラ／鉄粉濃度計／ ポータブルガス分析装置 等

役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	高橋 良典
取締役副社長執行役員	松原 義幸
取締役常務執行役員	金井 隆生
取締役上席執行役員	竹内 徹
	服部 雅夫
	村田 泰造
	西上 佳典
取締役	宇高 利浩
社外取締役	手島 肇
	廣田 博清
常勤監査役	飯森 龍
社外監査役	山岸 和彦
	柳澤 有廣
	林 紀美代

株式の状況

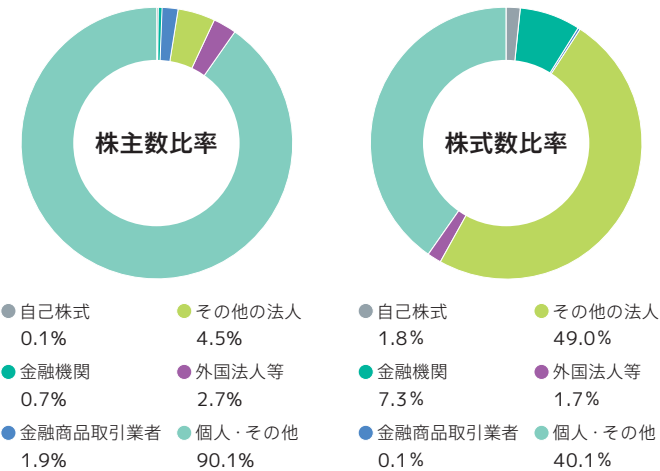
(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	12,561,000株
株主数	999名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
岩谷産業株式会社	3,353	27.18
有限会社アール・ケイ	572	4.64
新コスモス電機取引先持株会	554	4.49
新コスモス電機従業員持株会	479	3.88
笠原 美都子	475	3.86
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
第一生命保険株式会社	385	3.12
齋賀 優子	371	3.01
重盛 徹志	337	2.73
リンナイ株式会社	251	2.04

(注) 1. 持株比率は自己株式 (223,910株) を控除して計算しております。
2. 発行済株式の総数には自己株式 (223,910株) を含んでおります。



企業理念

経営理念 ―コスモス スピリット―

1. コスモスは、未来を自らの手で創る人々の集団である。
2. コスモスは、現状に満足することなく、常に未知の可能性に挑戦する創造と向上の精神を尊重する。
3. コスモスは、関係する全ての人々の利益を尊重し、全員の衆智によって経営される。
4. コスモスは、社員に自己の適性に応じた価値ある仕事と成長していく実践の場を与える。
5. コスモスは、常に価値ある商品を生み出し社会生活の向上に貢献する。

コスモスの使命

「コスモスはセンサテクノロジーで、安全・安心・快適な環境創りに貢献する」

社是

「自主・自力・創造・執念・感謝」

株主メモ



証券コード：6824

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、官報に掲載します。 公告掲載アドレス： https://www.new-cosmos.co.jp/ir/earning/

- [ご注意] 1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

（ご案内）少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

なお、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



みんなでシェアして、低炭素社会へ。
新コスモス電機株式会社は、Fun to Share!に賛同しています。